



# 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## ファンドの特色(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

主として、「東京海上 サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド」受益証券(円建て)と「東京海上マネーマザーファンド」受益証券(円建て)に投資を行い、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

東南アジア諸国連合(アセアン)加盟国の取引所に上場されている株式(これらに準ずるものを含みます。)などに投資を行います。

東京海上アセットマネジメント投信と東京海上アセットマネジメント・インターナショナル(シンガポール)が運用を行います。

実質組入外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。

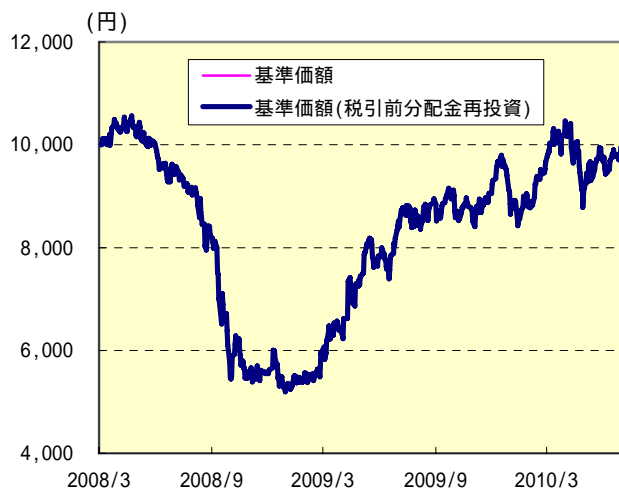
原則として2月と8月に決算を行い、分配方針に基づいて分配を行います。

基準価額水準等によっては分配を行わない場合があります。

設定日	2008年3月28日	信託期間	2028年8月15日まで
決算日	原則 2月15日、8月15日 (休業日の場合は翌営業日)		

## 基準価額、パフォーマンスなどの状況

### 基準価額の推移



基準価額は信託報酬控除後のものです。  
上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。  
基準価額は1万口当たりで表示しています。

### 基準価額・純資産総額

基準価額	10,020円
前月末比	+415円
純資産総額	788百万円

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	+4.32	-1.42	+12.32	+17.59	-	+0.20

ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りは異なります。

### 分配実績(1万口当たり、税引前)

期	分配日	金額
第1期	2008年8月15日	0円
第2期	2009年2月16日	0円
第3期	2009年8月17日	0円
第4期	2010年2月15日	0円
第5期	2010年8月16日	0円
設定来累計		分配実績なし

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。  
分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

## ポートフォリオの状況

### 資産構成

資産名	比率(%)
東京海上 サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	96.5
東京海上マネーマザーファンド	0.1
短期金融資産など	3.4
合計	100.0

### 市場別投資比率

市場名	比率(%)
シンガポール	38.8
マレーシア	20.2
タイ	12.8
インドネシア	16.7
フィリピン	4.0
ベトナム	0.3

### 業種別投資比率(上位5業種)

業種名	比率(%)
運輸	16.5
銀行	15.0
資本財	13.7
食品・飲料・タバコ	11.6
電気通信サービス	8.6

資産構成比率は、東京海上・東南アジア株式ファンドにおける純資産総額に占める割合です。

市場別投資比率および業種別投資比率は、東京海上 サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドにおける純資産総額に占める割合です。

短期金融資産などは、組入投資信託以外のものです。

業種名はMSCI産業グループ分類です。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



# 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## 組入上位10銘柄

	銘柄名	市場	業種	比率 (%)	銘柄概要
1	CHAROEN POKPHAND FOODS PLC CO LTD F	タイ	食品・飲料・タバコ	6.0	チャルーン・ポーカパン・グループの傘下にある食品・飼料メーカー。ニワトリ、カモ、ブタ、牛、エビ、魚の飼料などを生産する。畜産業や家畜のブリーディングを行うほか、精肉や鶏肉の加工製品も生産する。
2	SIA ENGINEERING CO	シンガポール	運輸	5.9	シンガポールの航空機サービス会社。シンガポールに離発着する航空機の機体・部品の修理、地上ハンドリングサービス等を提供。
3	SINGAPORE AIRPORT TERMINAL SERVICES	シンガポール	運輸	5.7	機内食などの食品ケータリングが主な事業。そのほか、旅客サービス、貨物管理、航空セキュリティなど空港サービス全般を行う。
4	SEMBCORP INDUSTRIES LTD	シンガポール	資本財	4.2	シンガポールのエンジニアリング会社。法人向けに、電気、ガス、水道などのインフラ整備や海洋エンジニアリングサービスなどを提供する。
5	MALAYAN BANKING BHD MAYBANK	マレーシア	銀行	4.0	マレーシア、シンガポールおよびその他の地域で一般商業銀行およびイスラム系銀行業務を展開。子会社を通じて、総合・生命保険、証券・先物仲介、リース、ファクタリングなどのサービスも提供。
6	ASTRA INTERNATIONAL TBK	インドネシア	自動車・自動車部品	3.8	自動車・二輪車店スベア部品の組み立て、販売を手掛ける。子会社を通じて、鉱業、プランテーション開発、金融、IT事業も展開。
7	ABOITIZ POWER CORP	フィリピン	公益事業	3.2	水力発電事業を手掛け、同分野においてフィリピン最大手。
8	CIMB GROUP HOLDINGS BHD	マレーシア	銀行	2.7	商業銀行・関連金融業務に従事する。子会社と共に、地方銀行としてさまざまな金融商品およびサービスを提供する。
9	TIGER AIRWAYS HOLDINGS LTD	シンガポール	運輸	2.5	シンガポールを拠点に、低コストにて東南アジアや香港、中国、オーストラリア間の運航を扱う航空会社。
10	M1 LTD	シンガポール	電気通信サービス	2.4	シンガポール国内で事業を展開する移動体通信会社。携帯音声通信、データ通信、ローミングサービスなどを提供。

組入銘柄数

55

比率は、東京海上 サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド における純資産総額に占める割合です。  
業種名はMSCI産業グループ分類です。  
上記のコメントは、当ファンドの基準日現在の組入銘柄の紹介であり将来変更する可能性があります。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



## 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## ファンドマネージャーコメント

## 投資環境と運用経過

7月の東南アジア株式市場は、6月末に開催されたG20(20カ国・地域首脳会合)で先進諸国が2013年までに財政赤字を半減させるという方針が確認されたことを受け、各国の財政削減が世界の経済成長に及ぼす影響への懸念が広がる中、東南アジア域内の一部の国で第2四半期のGDP成長率が前年同期比で大幅成長となったことや、域内の企業業績に対する楽観的な見方が広がったことなどを受けて比較的堅調な値動きとなり、一部の市場を除いて各市場とも前月末水準を上回る推移となりました。

## &lt;シンガポール株式市場&gt;

同国通産省が発表した2010年第2四半期実質GDP速報値が前年同期比で19.3%増加となり、四半期ベースの前年比成長率が2期連続で過去最高を更新したことが好感され、商社・商品関連会社株、銀行株や不動産会社株などが相場をけん引し、前月末比で5.9%の上昇となりました。

## &lt;マレーシア株式市場&gt;

インドネシアやスリランカ子会社の業績改善などが好感された大手携帯電話会社株や、好業績期待を受けた銀行株などが相場をけん引し、前月末比で2.9%の上昇となりました。

## &lt;タイ株式市場&gt;

同国中央銀行が2010年のGDP成長率見通しを6.5~7.5%と前回予想時から上方修正したことが地合いの改善につながりました。また、BP社の原油流出事故を受けて、湾岸諸国やメキシコから米国向けの海産物供給がストップした影響で、えびの価格が上昇したことや受注が拡大したことが好感された食品加工メーカー株や、景気回復と利上げの恩恵を受けるとの見方から銀行株なども相場をけん引し、前月末比で6.9%の上昇となりました。

## &lt;インドネシア株式市場&gt;

同国の比較的堅調な経済情勢などをを受けて、海外投資家からの資金流入が継続し、好調な販売動向から好決算が期待される大手自動車販売会社株に加え、通信会社株や銀行株なども相場をけん引し、前月末比で7.0%の上昇となりました。

## &lt;フィリピン株式市場&gt;

同国中央銀行が専門性の高い労働者の増加により海外労働者からの送金が増加するとの見通しを示したことから、国内資金量増加期待の高まりなどを背景として不動産会社株が買われたほか、電力会社株や通信会社株なども相場をけん引し、前月末比で1.7%の上昇となりました。

## &lt;ベトナム株式市場&gt;

大手格付会社のフィッチ・レーティングスが、同国の長期発行体デフォルト格付(IDR)を引き下げたことなどをを受けて、月後半に下げを加速する展開となり、前月末比で3.8%の下落となりました。

## &lt;為替市場&gt;

為替市場では、多くの通貨が円に対して下落しました。

このような中、当ファンドの基準価額は前月末対比415円の上昇となりました。

当ファンドの運用に際しては、個別企業調査を重視し、ボトムアップによる銘柄選択を中心に中長期的な成長が期待され、かつ、バランスシートも健全で、業績透明度の高い銘柄を中心に組み入れを行っております。このような観点での銘柄選択を、今後も継続していく方針です。

## 今後の見通し

東南アジア主要国経済は、域内需要や域内貿易の拡大に支えられ相対的に堅調に推移する一方、予想より早いペースの景気回復やインフレ懸念の台頭などを背景に、各国政府はこれまでの金融危機に対応した大幅な金融緩和や財政出動による景気刺激策について、修正を図る動きを見せております。

今後も、各国政府が政策金利引き上げを含む引き締め策を実施するものと思われ、また、先進国の財政健全化へ向けた財政削減政策などが世界の経済成長へ及ぼす影響などが懸念される中、当面、東南アジア株式市場は上値が重く、ボックス相場が続く可能性もあると考えます。しかし、東南アジア株式市場の株価水準は、その成長性に対して依然として割安な水準にあり、海外投資家の投資資金は東南アジアを含むアジア株式市場での投資機会をうかがい待機していると思われることから、各国の金融引き締め策が出揃い、悪材料出尽しにより金融引き締め懸念が後退する状況となれば、2010年の企業収益の上昇などを織り込みつつ、再び上値を目指す展開になるもの想定しています。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



# 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## ご参考資料

東南アジア各国の株式市場の推移

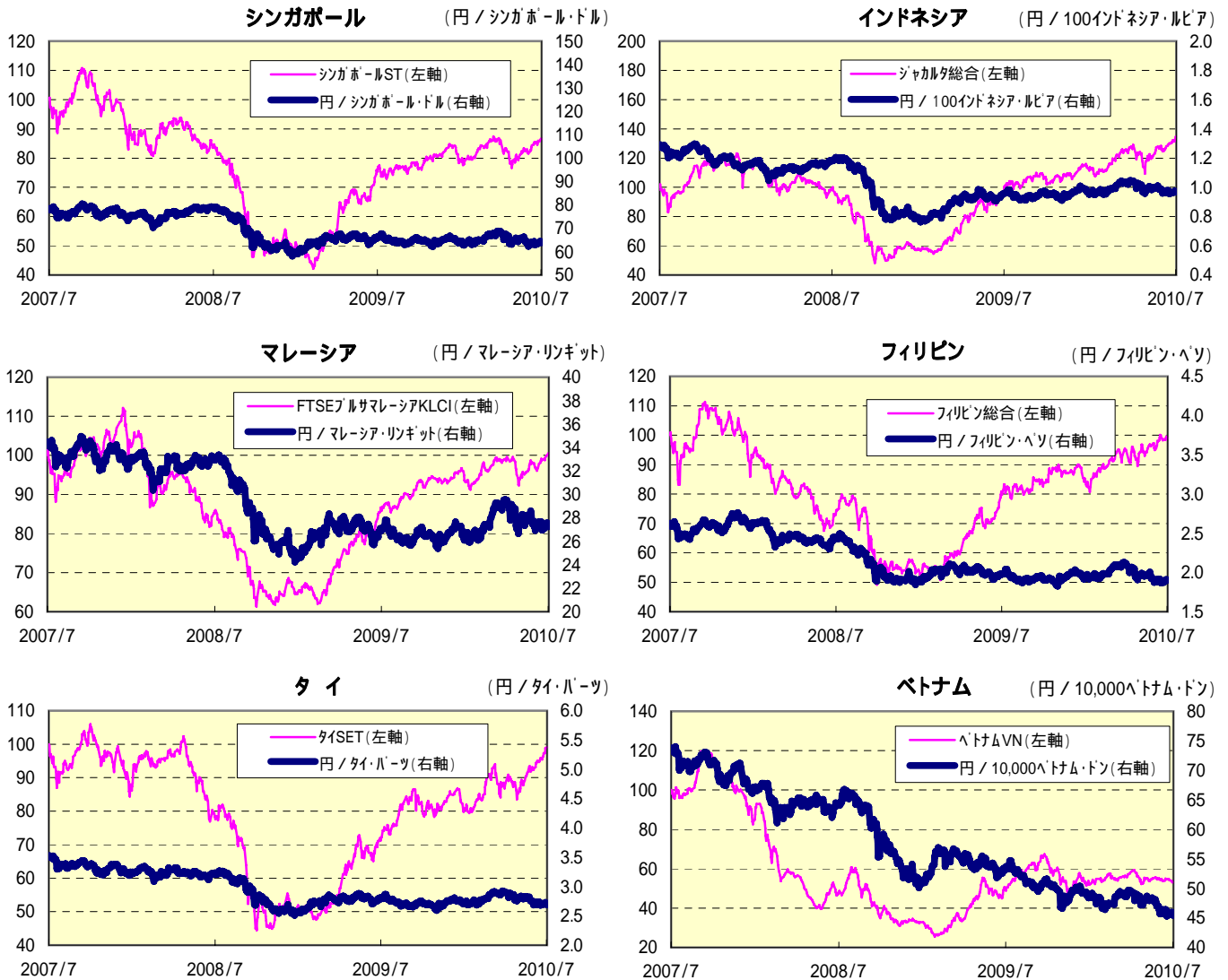
指数	2010/6/29	2010/7/29	騰落率(%)
シンガポールST指数	2,830.3	2,997.7	+5.9
FTSEブルサマレーシアKLCI指数	1,319.8	1,358.4	+2.9
タイSET指数	799.1	854.6	+6.9
ジャカルタ総合指数	2,893.4	3,096.8	+7.0
フィリピン総合指数	3,372.7	3,429.1	+1.7
ベトナムVN指数	510.7	491.1	-3.8

為替レートの推移

通貨	2010/6/30	2010/7/30	変化率(%)
シンガポール・ドル	63.38円	63.74円	+0.6
マレーシア・リンギット	27.33円	27.24円	-0.3
タイ・バーツ	2.73円	2.69円	-1.7
インドネシア・ルピア	0.98円	0.97円	-0.8
フィリピン・ペソ	1.91円	1.90円	-0.3
ベトナム・ドン	46.4円	45.4円	-2.2

出所: Thomson Datastream および Fact Set のデータを基に、東京海上アセットマネジメント投信が作成。  
 為替レートのインドネシア・ルピアは100単位、ベトナム・ドンは10,000単位の値です。  
 東南アジア各国の株式市場の推移は、基準価額算定の基準となる期間に対応しております。

## 主要株式および通貨の動き (過去3年)



出所: Thomson Datastream および Fact Set のデータを基に、東京海上アセットマネジメント投信が作成。  
 各指数は、3年前の数値を100として指数化しております。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**  
 URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



# 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## お申込みメモ

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 取得の申し込み : 原則として、毎営業日にお申し込みを受け付けます。  
ただし、以下の日のいずれかに該当する場合には、受け付けを行いません。  
シンガポールの証券取引所の休業日 ルクセンブルグの銀行の休業日  
12月24日(ルクセンブルグの銀行の半休日)  
受付は午後3時までとします。受付時間を過ぎてからの申し込みについては、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 申込単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによってお申込単位は異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  
お申し込みには、収益分配金の受取方法により以下の2種類のコースがあります。  
<分配金受取りコース>分配金を受け取るコースです。  
<分配金再投資コース>分配金が税引き後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。
- 申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金の請求 : 原則として、毎営業日にご換金の請求を受け付けます。  
ただし、以下の日のいずれかに該当する場合には、受け付けを行いません。  
シンガポールの証券取引所の休業日 ルクセンブルグの銀行の休業日  
12月24日(ルクセンブルグの銀行の半休日)  
受付は午後3時までとします。受付時間を過ぎてからの換金請求については、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 換金単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 : ご換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額(解約価額)
- 換金代金の支払い : 原則として、ご換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
- 信託期間 : 原則として、2008年3月28日から2028年8月15日まで
- 収益分配 : 原則として、毎年2月15日および8月15日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、分配方針に基づいて収益分配を行います。  
分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。
- 課税上の取り扱い : 収益分配時の普通分配金、換金(解約)時および償還時の差益に対して課税されます。  
課税上は株式投資信託として取り扱われます。  
税制改正などにより、課税上の取扱内容が変更になる場合があります。

## 当ファンドにかかる手数料等について

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 申込時に直接ご負担いただく費用
- 取得時の申込手数料 : お申込価額に3.15%(税抜3%)の率を乗じて得た額を上限として販売会社が個別に定める額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
- 換金(解約)手数料 : ご換金(解約)手数料はありません。
  - 信託財産留保額 : ご換金請求受付日の翌営業日の基準価額の0.3%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
- 信託報酬 : 当ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加えた実質的な信託報酬の上限は年1.70675%(税抜1.655%)程度となります。  
当ファンドならびに当ファンドが投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬は以下の通りです。  
当ファンド ..... 信託財産の純資産総額に対し、年1.08675%(税抜1.035%)  
東京海上 サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド ... 純資産総額に対し、年0.62%  
東京海上 マネーマザー ファンド ..... 信託報酬はかかりません。
  - その他の費用 : 監査報酬(純資産総額に対し、税込年0.0105%(上限年63万円))、信託事務等に要する諸費用、組入投資信託証券においてかかる費用(有価証券売買時の売買委託手数料等)などをファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。(監査報酬を除く「その他の費用」は実際の取引などに応じて決まる費用であるため、その料率、金額などを事前に表示することはできません。)

当ファンドの手数料等の合計金額については、保有期間などに応じて異なりますので表示することができません。

## ファンドのリスクについて

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当ファンドは、主に外国の株式など値動きのある証券を投資対象とする投資信託証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資する場合には、為替変動により損失を被ることがあります。当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

- 株価変動リスク : 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給などを反映して変動します。また、発行企業が経営不安、倒産などに陥った場合は、投資資金が回収できなくなることもあります。
- 為替変動リスク : 外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。
- カントリーリスク : 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。また、新興国においては、取り巻く社会的・経済的環境が不透明な場合があり、投資環境の変化が先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。
- 信用リスク : 一般に、公社債や短期金融商品などの発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合、またはデフォルトが予想される場合には、当該公社債などの価格は大幅に下落することになります。
- 流動性リスク : 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことができますが、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



# 東京海上・東南アジア株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

## 委託会社、その他関係法人

委託会社: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

信託財産の運用指図などを行います。

商号等: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理などを行います。

販売会社

投資信託説明書(目論見書)のご提供、募集・販売の取り扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払いなどを行います。

商号(五十音順)	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社 あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号			
株式会社 百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号			
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号			

(当ファンドの照会先)

上記販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク 0120-712-016

土日祝日・年末年始を除く9時~17時

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、東京海上アセットマネジメント投信が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みには必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。

当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。

投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。

登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。